



7がつの ほけんだより

令和4年度 7月 江上保育園 ほけんだより



夏に起こりやすい皮膚トラブル



日本の夏は高温多湿です。近年の猛暑も加わり、ますます過ごしにくくなっています。日頃から子どもの皮膚のケアが大切です。

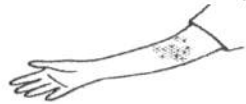
あせも

背中や肘の内側、首などに白や赤いブツブツが広がります。白く小さいものは1~2日で治りますが、赤いものは皮膚の炎症があり、かゆみをともないます。

(家庭でのケア)

汗をかいたら、シャワーで流したりこまめにタオルで拭きましょう。

かきこわさないように爪は短く切ります。



虫刺され

蚊やブユなどに刺されると大きく赤くはれることがあります。かきこわさないようにします。

(家庭でのケア)

刺された場所を石けんでよく洗い、市販の虫刺されやかゆみ止めの薬をつけます。

冷やすとかゆみがやわらぎます。



日焼け

過剰に紫外線を浴びると、やけどと同じような皮膚トラブルを起こします。

(家庭でのケア)

赤くなっている場合は冷やします。

水ぶくれになったら受診が必要です。

帽子を使用し木陰や日陰で過ごしましょう。



水いぼ

1~5mm程度の小さなブツブツが両手足体幹に集まってできます。軽度のかゆみがあります。

ウイルスが原因で発症します。

(家庭でのケア)

タオルの共有はやめましょう。

皮膚を清潔に保つことが大切です。



とびひ

虫刺されやあせも、擦り傷などに菌が入り込み水ぶくれができます。

それをかいた手でほかの皮膚に触れると広がります。

(家庭でのケア)

医師の診断を受け、とびひの部分进行を覆うことができるなら登園可能です。皮膚を清潔にし、手洗いが大切です。皮膚をかいて傷つけないようにするため、爪は短く切きましょう。

とびひの原因になる細菌は鼻の中にたくさんいます。鼻を触らないよう伝えましょう。

